

JSPS Information

- ◇地球物理学研究連絡会・議事抄録
- ◇日本惑星科学会賛助会員名簿

◇日本惑星科学会賛助会員名簿

2002年6月25日までに、賛助会員として本学会に御協力下さった団体は下記の通りです。社名等を掲載し、敬意と感謝の意を表します。(五十音順)

宇宙開発事業団

カメカインストルメンツ(株)

(株)日立製作所放送・通信システム推進本部

(財)リモート・センシング技術センター

◇地球物理学研究連絡委員会・議事抄録(第18期・第6回)

日時:2002年4月4日(木)10:00-12:40

場所:日本学術会議 第4部会議室(6階601号室)

出席者:入倉,竹本,上出(代理:歌田),木田,椎葉
(代理:佐倉),花輪,藤井,松浦

日本学術会議事務局:中野

入倉委員長の司会で、大要以下の議事が行われた。

1. 専門委員会の英語名について

入倉委員長より、前回測地学研連から問題提起のあった専門委員会の英語名について、先に提案された Divisionではなく、Sectionを使ったらどうかとの回答が組織・組織制度常置委員会からあったことが紹介された。これによると、たとえば測地学研連が測地学専門委員会になったときには、Geodesy Section of National Committee for Geophysicsとなる。この件は今後、各研連に持ち帰って検討することとした。

2. 科研費審査委員の推薦について

このことについて、入倉委員長より資料配布の上、この間の経過説明がなされた。先の研連(第5回)後に作成した本研連の推薦方針を関係研連に提示したところ、了承した研連があるものの、なお強い反対を示した研連も存在している。そこで、今後の対応の仕方について、方針の抜本的見直しをも含めて議論してほしい旨の提案がなされた。

種々意見の交換を行ない、以下のような合意に達した。今回の見直しでは、(1)細目ごとに、その分野との関わりの強さに応じて研連単位で審査委員を推薦すること、(2)審査委員がカバーする学問分野をキーワードで詳細に示すこと、が強調されている。さらに、学術振興会での審査委員の選定は、必ずしも学術会議の推薦順位通りに行なわれているわけではなく、「定数」という考え方が厳密には成立しない。以上の諸点を考慮し、各研連には「定数」ではなく、「推薦数」を割り当てることとし、本研連からの実際の推薦にあたっては、幹事が推薦候補者の所属機関やキーワード、および分野間のバランス等を考慮し、順位を付すこととした。